

愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

高精度ミニトマトを利用した商品の加工販売と都市農業を活かしたミニトマトの販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第1回

飯田 実（愛知県名古屋市）

<事業計画概要>

都市部で生産しているミニトマトを利用し、使用範囲の広いトマトソースやトマトジュース、トマトパウダー、ドライトマト、トマト串カツ、トマトビネガー、トマトドレッシング、トマト塩を開発・販売するとともに、これらを組み合わせたギフトセットの開発・販売も行う。また、増設するハウス内に直売コーナーを設けるとともに、都市農業を活かした販売方法として収穫体験及び収穫したトマトの量り売りを行い、経営の多角化を図る。



自社生産豚肉を利用した総菜シリーズの製造販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第1回

有限会社 石川養豚場（愛知県半田市）

<事業計画概要>

自社の直売所等において豚肉、ハムソーセージを販売するなど、生産から販売までの一貫経営で独自ブランドを構築、売上げを伸ばしている。

新たに串カツや煮豚を中心とした和風総菜など、付加価値の高い新商品を開発・製造・販売することにより、経営の多角化・高度化を図り経営基盤を強化する。



稲武地域の特産品であるブルーベリーを利用した商品の加工・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第1回

株式会社 杉田組（愛知県豊田市）

<事業計画概要>

豊田市稲武地域の特産品であるブルーベリーについて、新商品を開発、新たな販売ルートを構築することにより経営の多角化・高度化を図る。

具体的には、新たに加工施設を整備しブルーベリーパイ、ブルーベリーマフィンを開発する。また、新たにインターネットや近隣観光施設で販売を開始する。



米粉を利用したかりんとうを中心とした油菓子の開発とインターネット・直売所を利用した米・米加工品の販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第1回

鈴木 晋示（愛知県豊川市）

<事業計画概要>

農業を節減して栽培した米を米粉とし、その米粉を利用したかりんとうを中心とした油菓子の新商品を開発・製造・販売する。

また、平成23年よりインターネット販売に取り組み、平成24年には直売所を開設することにより、販売方式の多角化を行い、経営基盤の強化を図る。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

イチゴとコメを利用したスイーツの加工、販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第1回

株式会社 秀農業(愛知県一宮市)

<事業計画概要>

イチゴと米粉を使った加工品を商品開発、生産するとともに、新たな販売ルートを構築することにより、経営の多角化・高度化を図り農業経営を改善する。

具体的には、新たに、イチゴと米粉を使ったロールケーキ及びイチゴを使ったアイスクリーム、飴を開発し販売する。加工は製造委託し、自社倉庫での直売、インターネット販売をする。



米粉を使った小麦粉フリー商品の開発・販売事業及びそれに伴う米の販路拡大事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第1回

安田 晃朗(愛知県豊橋市)

<事業計画概要>

小麦アレルギーの人も安心して食べられる小麦粉フリーの米粉ホットケーキミックスや米粉の唐揚げ粉等を開発する。

今年から新たに、特別栽培米を生産し、安田穀粉(有)に加工委託し商品化する。これまでのインターネット販売に加え、農産物直売所等で米及び米粉製品を販売し、農業経営の改善を図る。



岡崎市宮崎地区を中心とした地域の産物を生かした和紅茶とハーブ茶等の開発・生産・販売事業

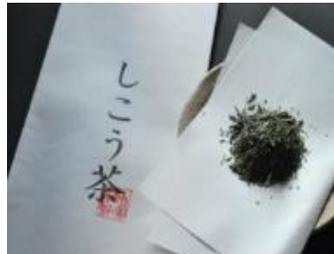
<認定農林漁業者等>

平成23年度第2回

梅村 芳正(愛知県岡崎市)

<事業計画概要>

宮崎地域の茶葉の特徴をいかした和紅茶やツボクサなどのハーブを使用したハーブ茶等の新商品を開発し、販売することで自社の経営基盤の確立を図る。



完熟のイチジク果実を活用した加工商品の製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第2回

大島 千恵子(愛知県一宮市)

<事業計画概要>

完熟いちじくのコンポートを開発・生産するとともに新たに販売ルートを開拓し、ブランド力と収益の向上を図り、女性農業者としての農業経営を確立する。

具体的には、地元百貨店やレストランに導入できる商品開発に取り組み、販路拡大を図る。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

豊富な栄養成分を生かした金時生姜ドリンクの開発・生産・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第2回

有限会社 木村農園（愛知県稲沢市）

<事業計画概要>

20～40代の女性を主ターゲットにした気軽に飲めるショウガ飲料を開発し、金時生姜の特徴をいかした他にないドリンクとして既存の販売チャネルである百貨店や自社ウェブサイトなどを最大限生かして販売に取り組み、経営基盤の強化を図る。



地域の特産物である「自然薯」を活用した農園レストラン事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第2回

柴田 善彦（愛知県岡崎市）

<事業計画概要>

ぶどう園の一部を農園レストランとして整備し、自家製の自然薯を主に地元の食材を使った新商品（とろろ定食）の提供と併せてレストラン内で自然薯の直売を行う。



段戸牛を活用した新商品開発・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第2回

株式会社 たけうち牧場（愛知県北設楽郡設楽町）

<事業計画概要>

段戸牛を使用した加工商品（牛丼、ビーフジャーキー、ビーフシチュー）を製造委託先の協力を得て開発する。既存の段戸牛カレーと新商品3種類のバリエーション化、相乗効果によりブランド力を高める。

具体的には、道の駅等小売店への卸売販売を行う。



地域特産化をめざす新野菜プチヴェールを利用した加工商品開発と販路拡大事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第2回

株式会社 尾東農産（愛知県日進市）

<事業計画概要>

芽キャベツとケールをかけ合わせた新野菜プチヴェールを粉末加工し、粉末飲料、加工食品、健康食品を開発製造し、家庭用、業務用として、地域販売所、百貨店等へ卸売り及び小売販売を行う。

併せて産学連携による地域おこしの取り組みを活用してプチヴェールの知名度を向上させ、需要拡大、売上高の向上を図るとともに利益率の向上を図る。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

奥三河津具高原トマトの販路開拓・新商品開発事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第2回

村松 誠士（愛知県北設楽郡設楽町）

<事業計画概要>

奥三河津具高原ミニトマトを使った加工品（セミドライトマト）を開発し販売するとともに7種類のミニトマトをパッケージングし、レストラン及び一般消費者向けに卸売販売に取り組み、所得向上を図る。



高糖度ミニトマトの摘み取り園訪問者への販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第3回

天野 正巳（愛知県西尾市）

<事業計画概要>

現在の1haの施設（プチトマト）に加えて観光地（吉良温泉）に近い立地条件を活かしたトマト摘み取り園を新たに整備し、来園客にトマトを販売することにより自社の収入の向上を図るとともに、規格外トマトを有効利用し、加工品を開発することによりさらなる収益向上及び経営の安定を図る。



石原農園の規格外トマトを利用した加工品開発、販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第3回

石原 常雄（愛知県愛西市）

<事業計画概要>

施設栽培の規格外トマトを使ったジャムやドレッシング等加工品の開発・販売を行うことで、年間を通して消費者が石原農園トマトに触れる機会を増やし、付加価値の向上と直接販売比率の増大に努めることにより農業経営の改善を図る。



米の精米工程の見える化を導入した、直売所での農産物販売及び大豆加工品の製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第3回

有限会社 小久井農場（愛知県岡崎市）

<事業計画概要>

新たに直売所を整備し、米、麦、大豆、野菜を販売する。この直売所に独自に無洗米精米機を設置し、無洗米を新たな主力商品とする。直売所の魅力を高めるため、大豆を使った新商品開発を取り組み、農業経営の多角化を図る。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

地域の特産品であるうずら卵の新しい用途性を生み出す新商品の開発・生産・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第3回

塩野谷商店 株式会社（愛知県豊橋市）

<事業計画概要>

うずら卵を活用して、温泉卵や半熟卵及び燻製卵など、競合品と差別化を図る加工方法で新商品の開発・生産を行うとともに既存の生卵の販売ルートを活用した販路開拓を行うことにより新たな事業を創出し、農業経営に付加価値を取り込み農業経営の安定化を図る。



合鴨農法で生産した古代米玄米と自社生産うるち米を原料とした、米粉100%のうどんの開発・製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第3回

株式会社 シバタファーム（愛知県日進市）

<事業計画概要>

古代米とうるち米を原材料とした米粉100%の「古代米玄米米粉うどん」を開発し自社製造を行う。うどんのほか、米粉（古代米玄米、うるち）の商品化やうどんと米粉をセットにした商品等を販売することで、農業経営の多角化を目指す。



豊根村の間伐材を利用した安心「つみき」製作プロジェクト

<認定農林漁業者等>

平成23年度第3回

豊根森林組合（愛知県北設楽郡豊根村）

<事業計画概要>

愛知県豊根村の間伐材を使用して「つみき」を製作・商品化し、安心をテーマに広く販売する。なお、「つみき」を通して山や森林が抱えている問題提起を行う。既存商品（犬小屋、縁台、木質ペレット等）との相乗効果を生み出し、販路拡大を行って林業経営の発展を図る。



野菜加工品（干し野菜等）の開発と、野菜、野菜加工品等の販路拡大事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第3回

株式会社 中甲（愛知県豊田市）

<事業計画概要>

干し野菜等の野菜加工品の商品開発、生産、販売に取り組む。また直売所を整備し、自社生産農産物及び野菜加工品を販売することにより、さらなる付加価値を取り込み、農業経営の利益率の向上を実現する。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

地域循環資源システムに則って栽培した愛知県産ナノハナの加工品等の開発・生産・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第3回

なのはな農園 株式会社（愛知県豊田市）

<事業計画概要>

菜の花を活用して新商品の開発・生産・販売を行い、経営の多角化と向上を図る。

具体的には、地域の遊休農地を活用しながら菜の花を栽培し、収穫物をなのはな油に委託加工し販売する。

また、加工時に発生する副産物を活用したドレッシング等を開発し販売する。



国産グレープフルーツ等を利用した加工品の企画・加工・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第3回

株式会社 萬秀フルーツ（愛知県知多郡美浜町）

<事業計画概要>

自ら栽培したグレープフルーツ等柑橘類を利用したジャム等の加工品を開発し、卸売中心の経営から製造小売への転換を図り、経営の安定化と規模拡大、地域活性化を目指す。

具体的には、新たに加工施設を整備し、国産グレープフルーツの生鮮流通だけでなく、ジャム、ピール、ジュースや菓子等の新商品に加工し、直売所やネット販売等に取り組む。



ブルーベリー、ガーデンハックルベリー及びマコモ若葉を利用したジャムや粉末の加工・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第3回

東三河農産加工販売協同組合（愛知県新城市）

<事業計画概要>

ブルーベリーとハックルベリーの機能性を活かすためのミックスマッシュを製品化し、生食には不適であるが機能性成分を多く含んだハックルベリー及び組合員らが休耕田対策として栽培を開始した、マコモ（イネ科の水生植物）の若葉の粉末加工品を製品開発・生産することにより経営の多角化を図り、農業経営に付加価値を取り込むことによって、農業経営の安定・改善を図る。



枯草菌栽培のハウレンソウを使用した翡翠麺開発・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成23年度第3回

有限会社 ライフコーポレーション（愛知県半田市）

<事業計画概要>

ハウス栽培のハウレンソウを練りこんだ乾麺である「翡翠麺」を開発・販売することにより付加価値を高め、当社カントリー事業部の経営の安定化を図り、障害者の継続雇用場を整備する。

翡翠麺は、既存取引先、自社生花事業部店舗「いちはな・花彩」での販売から知多半島内の観光土産店、飲食店、ネット通販等へ販路を開拓し経営の安定化を図る。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

豊橋市名産の次郎柿、種なし巨峰を使った和洋スイーツ素材の開発

<認定農林漁業者等>

平成24年度第1回

株式会社 石巻柿工房（愛知県豊橋市）

<事業計画概要>

石巻地域で生産した次郎柿、種なし巨峰を活用した商品「セミドライ柿」「巨峰のシロップ漬け」を開発し、一次加工品として和洋菓子店等に商品提案などを含めた営業活動を行う。

また、完成品として、スーパー、フルーツショップ、デパート等にも販路を拡大し、所得の向上と地域の活性化を図る。



地元の海域で採取した天然海藻アカモクの高付加価値商品開発・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成24年度第1回

海産物とこ丸 株式会社（愛知県常滑市）

<事業計画概要>

地元海域で採取する良質な天然海藻アカモクを使用した「炊き込みご飯の素」や「ふりかけ」などを付加価値の高い商品として研究開発する。アカモクは、大消費地での認知度が低く、その特性をPRしながら新たな販路を構築し、需要の拡大を図ることにより地域漁業の活性化と経営基盤を確立する。



横山農園のトマトとメロンを使用したレストラン事業、洋菓子製造販売事業

<認定農林漁業者等>

平成24年度第1回

横山 賢一（愛知県豊明市）

<事業計画概要>

新たにレストラン兼直売所を設置し、当農園で栽培したトマトを使用したパスタや煮込み料理、マスクメロンを使用した前菜やデザートなどの料理を提供する。さらに、タルトやパンケーキなどの洋菓子を提供することにより新たな価値を創造し、販売ルートを構築することによって農業経営の改善を図る。



自社牧場の生乳を使用した「チーズづくり体験キット」の製造販売事業

<認定農林漁業者等>

平成24年度第1回

合同会社 酪（愛知県西尾市）

<事業計画概要>

モッツアレラチーズ作りを体験できる自社製の「チーズづくり体験キット」を開発し、自社牧場、道の駅、各地イベント等で販売を行う。また、交流牧場の行事等においてチーズづくり体験を通じて親子で触れ合う場所、時間を提供することにより、酪農に関する食育活動を実践するとともに経営基盤の安定化を図る。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

日本特有の文化食材である鮎を利用した商品の加工、販売事業

<認定農林漁業者等>

平成24年度第2回

兼升養魚漁業生産組合（愛知県豊川市）

<事業計画概要>

鮎のフィレや開き（骨なし）などの加工商品を開発・生産し、販売ルートを構築することで、養殖業経営に付加価値を取り込み、経営の多角化と高度化によって、雇用の確保と経営の改善を図る。

また、鮎関連商品の幅広い消費者層へ提供を通じて、日本の伝統食文化の継承と自然環境の保全に資する啓蒙活動を行う。



牛肉(知多牛)・生乳を原料とした畜産物加工品と農畜産物の販売及び農家レストランの経営による地域農業の発信拠点づくり

<認定農林漁業者等>

平成24年度第2回

株式会社 黒牛の里（愛知県半田市）

<事業計画概要>

地域の特産である「知多牛」を核とした農畜産物を使用して、農家レストランの経営とともに惣菜製品の製造・販売を行う。

農畜産物の加工・販売等と併せ、地域の人々が交流する場所を提供しながら地域農業の魅力を継続して発信する。総合化事業の実施によって、経営基盤の強化と所得の向上を図り、経営規模の拡大とともに雇用を創出する。



ミニトマトを使用した新たな加工品開発、販売事業

<認定農林漁業者等>

平成24年度第2回

中野 悦宏（愛知県愛西市）

<事業計画概要>

自ら生産したミニトマトを使用して、加工品(コンポート、ゼリー、酢、粉末飲料、カラートマトを使用したトマトジュース等)を開発して販売を行う。

事業を通して経営規模を拡大し、農業経営の基盤強化と安定化を目指す。また、6次産業化の積極的な推進とともに、地域農家への経営革新の啓蒙を通して地域の雇用環境改善を目指す。



育てて食べる暮らしの場で飼育した豚肉の加工販売事業

<認定農林漁業者等>

平成24年度第2回

渡部 千美江（愛知県田原市）

<事業計画概要>

飼育期間を通常より長くした豚を使用して、ウインナーやハム等を製造委託し、直営売店にて精肉やウインナー等を販売する。

また、自家製の米粉パンとハンバーグを用いたハンバーガー等の販売を行う。

地元地域に根ざした農業経営のモデルケースとしての確立を目指し、多様な農業経営体が共存できる地域社会の実現に貢献する。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

愛知県産茶葉を原料としたてん茶の開発及び製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成24年度第3回

農事組合法人 愛知てん茶組合（愛知県西尾市）

<事業計画概要>

愛知県西尾市を中心としたてん茶用茶葉栽培農家が、農事組合法人を設立し栽培技術やノウハウの共有により高品質な茶葉を生産し、自らが栽培した茶葉で新たなてん茶の開発・製造及び販売を行うとともに、新たな販売ルートを確認し、西尾抹茶・愛知のてん茶をさらに品質を向上させ、ブランド化することにより、茶葉栽培農家の農業経営の改善・安定化、地域農業への波及による地域活性化を目指す。



地域の特産品である食用サボテンを利用した商品の開発・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成24年度第3回

有限会社 後藤サボテン（愛知県春日井市）

<事業計画概要>

食用サボテン（メキシコなどでは名前を「ノパル」と呼ばれ市場に野菜として並んでいる）を活用した食品の新商品（サボテンソルト、サボテンジュース）を開発し、加工委託により製造する。

販売は、自社農場内へ直売所を整備して自ら販売するとともに、県内の農産物直売所や飲食店などの新たな販売ルートを構築することで経営の多角化・高度化を図り、農業経営の改善を図る。



四つ葉のクローバーのメッセージ性を活かした新商品の開発及び販売事業

<認定農林漁業者等>

平成24年度第3回

ハートツリージャパン株式会社（愛知県常滑市）

<事業計画概要>

「幸運」のアイテムとして知られている四つ葉のクローバーの癒し効果とメッセージ性を活用した新商品を開発するとともに、新たな販売方式を導入することで、通年販売を可能として所得の向上を目指す。コンセプトは「C・LOVE・R＝クリエイト・ラブ・リング（愛の輪を創造する）」と設定し、植物を通じた社会貢献活動を積極的に展開するとともに、観賞用以外に、食用に適した栽培方法を確立することで付加価値を創出し、経営基盤の強化を図る。



碧南特産品のニンジンおよび希少価値が高い金時ニンジンを使った加工品等の開発・製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成24年度第3回

鈴木 啓之（愛知県碧南市）

<事業計画概要>

有機主体の肥料を使用するとともに「塩農法」を用いて、碧南市の特産品であるにんじんや金時にんじんを栽培し、付加価値を高めたジュースやパウダー等の加工品開発・製造・販売に取り組む。

これまで、卸売りや直売所、イベント会場等での販売を行っているが、新たに軽トラックを利用した移動販売を導入することで、販路の拡大と利益率の向上により、農業経営の改善と安定化を図る。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

吊り下げ方式栽培による原木シイタケを利用した加工・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成24年度第3回

長谷川 元（愛知県一宮市）

<事業計画概要>

吊り下げ方式(原木の管理やシイタケの発生操作等の作業面において省力化が図れ、原木が地面から離れていることで湿度や温度の調整が容易)により、栽培する原木シイタケを主原料とする加工商品(シイタケ塩、シイタケ茶)を、地元業者等の協力を得ながら企画開発・製造するとともに、新たな販売チャネルを構築することによって新たな事業を創出し、農業経営に付加価値を取り込むことで、経営の改善を図る。



ヤーコンを活用したヤーコン茶などの加工品の開発・製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成24年度第3回

三浦 良夫（愛知県尾張旭市）

<事業計画概要>

自ら栽培したヤーコンを活用して新商品(茶、漬物等)の開発・製造・販売を行う。加工品の付加価値を利益として取り込むとともに、収穫時期以外の農業収入を確保することにより、農業経営の効率化、収益向上を図る。

具体的には、ヤーコン茶、ヤーコン漬物、ヤーコン干し芋等の新商品開発を行い、道の駅等の直売施設において、ヤーコンや加工品の価値を紹介しながら販売する。



地域特産品のレンコンを使用した冷凍惣菜の開発、製造、卸売事業

<認定農林漁業者等>

平成24年度第3回

有限会社 れんこん屋（愛知県愛西市）

<事業計画概要>

地域の特産品である自社生産のれんこんを使用した味と食感にこだわった冷凍惣菜の開発・加工・販売を実施する。新商品は、れんこんのきんぴらや筑前煮、酢の物といった、一般的な和惣菜から、バジル風味やレモン風味のれんこんサラダなどサンドイッチの具に使用できる洋惣菜を複数開発・製造する。外食産業や中食市場等の新たな販路開拓を行うことで、地域の特産品であるれんこん生産の継続性を維持するとともに、経営基盤の改善を図る。



農業や化学肥料を使用せずに栽培した野菜を活用した農家レストランの運営とスープ、ソースの加工品販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第1回

サインズ株式会社（愛知県豊川市）

<事業計画概要>

少量多品目生産の特徴を生かして自社生産の旬の食材(タマネギ、じゃがいも、カボチャ、にんじん、キャベツ、里芋)を提供する農家レストランを企画運営する。

また、家庭でもレストランの味を楽しんでもらえる加工品(スープ、ソース)を開発し、レストランでの直売や宅配既存顧客、既存の取引先のスーパーや飲食店への販売を行うことにより経営を改善し安定した経営状態の確保を図る。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

豊田市産のワイン用ぶどうを活用した、自家醸造ワイン、スパークリングワインの生産と卸売、直売場での販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第1回

須崎 大介（愛知県豊田市）

<事業計画概要>

豊田市のワインブランド確立のため、ほ場の拡大を行うとともに果実酒製造免許を取得し、直売施設と醸造設備を整備して自家醸造に転換、生産規模の拡大を図る。

新たな商品としてスパークリングワインを開発・生産し、従来のネットを中心とした小売事業に加え、卸売事業にも参入し、販売力の一層の強化を図る。



生産者の顔が見える販売方法を活用できる 古代米(緑米)加工食品等の開発・製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第1回

TAKファーム株式会社（愛知県豊田市）

<事業計画概要>

既存商品に加え、新たに緑米のもち粉を自社加工し、これを活用した二次加工食品（ピザ生地、団子、菓子、しゃぶしゃぶ用餅商品、おこわ等）の開発・製造を行い、地元自然食品店、観光施設、飲食店等に販売する。

緑米を活用した加工品の品揃えを増やすとともに、新商品の新たな販路先を開拓する。また、自社で製粉加工することでコスト削減を目指し、経営の改善を図る。



農薬と化学肥料を使用しないトマトとにんじんを利用した商品の開発・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第1回

有限会社 プラネット（愛知県大府市）

<事業計画概要>

「農薬と化学肥料を使わない野菜」というコンセプトで栽培したトマト、にんじんを原材料に、化学添加物を使用しない新商品（ジャム、トマトソース、トマトケチャップ、にんじンドレッシング、ジュース）の開発を行う。

安心・健康志向の消費者をターゲットとし、生果と加工品を併せて売り込み、新たな販路を開拓することにより、生果販売と加工品販売の相乗効果を発揮して農業経営の改善を図る。



化学合成農薬・化学肥料を使わず栽培した香りの強いバラを活用した新商品開発・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第1回

山田 勝（愛知県弥富市）

<事業計画概要>

花きでは希少な有機JASの認定を受けて栽培したバラを原料に使用した、バラ本来の香りを楽しむことができるシロップ、ジャムを開発、販売する。

「安全で安心かつ希少価値の高い高級な食材」を望む富裕層をターゲットに、百貨店や高級スーパー向けの商品として売り込んでいながら新たな販売ルートを構築することにより、農業経営の改善を図る。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

愛知県内唯一の白い発芽ニンニクを使った、手軽にコクや旨味を加えられる加工品の開発・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第2回

安藤 和央（愛知県豊田市）

<事業計画概要>

自ら生産した発芽ニンニクの未利用部分である鱗茎を使ってニンニクペースト等の加工品を開発・製造する。周年販売可能な商品とし、飲食店や直売所等に販売することで、売上の増加と安定、利益率の向上を図り、農業経営の改善を図る。



糖度の高いトマトを利用した加工・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第2回

大参 時由（愛知県知多郡南知多町）

<事業計画概要>

自ら生産した糖度の高い早採りトマトと完熟トマトを主原料とするジャム、アイスクリーム、生ゼリー等の加工食品を企画開発することによって新たな事業を創出する。

また、自ら経営する農園で直売する他、観光客をターゲットに販路拡大を行い、農業経営に付加価値を取り込むことで農業経営の改善を図る。



篠島産のえび、しらす、わかめ、海苔を使った高付加価値商品の開発・加工・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第2回

株式会社 篠島お魚の学校（愛知県知多郡南知多町）

<事業計画概要>

自社で漁獲した篠島の特産品であるえび、しらす、わかめ、海苔を活用したしらす入り食べるラー油やペットフード等の新商品を製造・販売する。自ら加工することで付加価値を高め、島外の消費者への販路を開拓し、併せて行う漁業体験事業や飲食店、宿泊施設等との事業協力により相乗効果を図り、安定的な収入や雇用確保、収益率の向上を図る。



中玉トマト・ミニトマト等の野菜の加工品の製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第2回

株式会社 ジャパンフードファクトリー（愛知県名古屋市）

<事業計画概要>

自社生産の規格外トマトを用いてペーストに加工する。ジュース、ソース、ジャム等の新商品を製造し都市部のレストラン、ホテル、百貨店などをターゲットに販売することで農業経営の効率化を目指す。

また、加工品を販売することで、周年にわたって自社商品供給を実現し、固定客数の拡大による売上安定、拡大を目指す。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

知多半島産卵を原料としたプリン等加工食品の開発及び製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第2回

有限会社 デイリーファーム（愛知県常滑市）

<事業計画概要>

自社のブランド卵を活用して、新たにプリンやシュークリーム等の加工食品の開発・製造を行い、新たに整備する加工・直売・イートイン施設において直売や新規販売ルートを開拓することにより、よりブランド力を高め、農業経営の改善・安定化、収益の向上を図る。



自社生産するこだわりの碾茶等を活用した「お菓子」「加工食品」の開発と販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第2回

野場 義尊（愛知県豊田市）

<事業計画概要>

当園（高香園）で生産した碾茶を活用して、抹茶の付加価値を高める「碾茶ふりかけ」「碾茶かりんとう」を開発・商品化し、シリーズ化して、道の駅や地元直売所等で販売する。これらの取組により、豊田市のお茶のブランドの向上を図り認知を広めることにより、安定的な経営基盤の確立を目指す。



有機栽培トマトを使用した加工品開発販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第2回

花井 伸光（愛知県大府市）

<事業計画概要>

自ら生産した有機栽培トマトを使用した万能ソース等の加工品を開発し、自園や地元直売所で販売を行うことで生果を含めた自園のブランド化を図る。

また、自園に直売所を整備することで農業経営における収益性を高め、家族経営による都市近郊農業のひとつのモデルケースを示すことを目指す。



化学合成農薬・肥料不使用栽培野菜を使用したお弁当・スープ・スイーツ・クッキー・パン等の加工販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第2回

特定非営利活動法人 福祉住環境地域センター（愛知県豊橋市）

<事業計画概要>

自社で生産した野菜を使用して、介護、福祉に配慮したお弁当、スープ等の新商品を開発する。さらに障がい者自立支援の一環として食品加工場を新設して製造し、宅配やスーパー、レストランへの直販に取り組むことで売上の向上を目指す。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

品種改良した食用菊「サラダママ」「美食菊」シリーズの生産販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第2回

株式会社 豊幸園（愛知県愛西市）

<事業計画概要>

従来からある菊の食用品種に加え、さらに品種改良に取り組み、自ら育成した食用菊の「サラダママ」「美食菊」を用いてパック加工し新商品を開発・製造する。量販店等の生鮮売り場で販売するとともに、また、新たに食品としての流通ルートを開拓、菊を食材として提案し、食文化の普及を図る。



いちじく・ラズベリー・ブラックベリー等を利用した商品の加工・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第2回

株式会社 美馬園芸（愛知県東海市）

<事業計画概要>

自社で生産したいちじく等を活用したジャム類(コンフィチュール等)、冷凍真空パックのラズベリー、ブラックベリーを商品開発・製造する。また、地元直売所で販売するとともに新たな販売ルート構築することによって経営の多角化・高度化を図り、農業経営に付加価値を取り込むことで農業経営の改善を図る。



臭いの少ないジャンボニンニクを使用した加工食品の加工・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第2回

有限会社 ヤマセイ造園（愛知県知多郡南知多町）

<事業計画概要>

自社生産したジャンボニンニクを主原料とする加工食品（黒ニンニク、黒ニンニクバーニヤカウダソース、黒ニンニクたまり醤油、ニンニク塩レッシング）を企画開発する。

また、旅館・ホテルの売店や土産物店で販売するなど、新たな販路を開拓することで新事業を創出し、農業経営に付加価値を取り込むことによって農業経営の改善を図る。



鶏卵及び未利用資源である親鳥を使った商品の開発・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第3回

有限会社 高橋養鶏（愛知県豊橋市）

<事業計画概要>

ブランド力のある名古屋コーチンの親鳥と鶏卵を利用した新商品を開発・販売する。あわせて自社の卵や加工製品の味を知ってもらうため、キッチンカーやカフェを立ち上げ、従来の経営資源を生かしつつ生産の改善と他業種との連携を図る。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

愛知県東三河地域の特産品であるうずらの糞を主原料とした新たな成分配合のペレット肥料の製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第3回

ようじゅん

豊橋養鶏農業協同組合（愛知県豊橋市）

<事業計画概要>

うずら飼養の副産物であるうずらの糞を利用し、発酵させる事により様々な作物の種類に合わせた堆肥商品を開発・販売する。

うずらの糞の付加価値を高めることで、新たな販路の開拓、環境の配慮はもとより、うずら飼養の回復、組合及び組合員の経営の安定化に繋げる。



高鮮度維持凍結機による名古屋コーチンを使った添加物フリーの燻製品開発と高品質冷凍肉の製造

<認定農林漁業者等>

平成26年度第1回

名古屋市南部食鶏加工協同組合（愛知県名古屋市）

<事業計画概要>

品質を劣化させずに凍結し鮮度維持が可能である高鮮度維持凍結機（プロトン凍結機）を導入し、名古屋コーチンを用いた添加物フリーの燻製品、しゃぶしゃぶ・すきやきセット、モモ、ムネ冷凍肉等の商品を開発する。

これらの新商品による販路の拡大やプロトン凍結機導入による商品の安定供給により、収益の向上及び経営の安定化を図る。



子ども達に残したい美しい環境を育む信州産ワインの製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成25年度第3回

社会福祉法人 サン・ビジョン（愛知県春日井市）

<事業計画概要>

ワイナリーを新設し自社栽培のブドウにより品質の高いプレミアムワインの製造を行う。同時に地域の果樹栽培農家と連携し長野県における新たなワインのブランド形成を図り農業の振興に資する。

また、ワイナリーに売店、試飲コーナーを併設することにより観光の振興、雇用の確保につなげる。



自ら生産した果実・自然薯等を活用した新商品の開発、加工及び直売事業

<認定農林漁業者等>

平成26年度第2回

株式会社 採果の郷（愛知県知多郡東浦町）

<事業計画概要>

規格外品や余剰生産物を利用して、素材の味を活かした自然志向のジャムや里いもコロッケ、冷凍すりおろしとろろなどの総菜類に加工し、より付加価値の高い商品を製造することで、年間を通じた収入源を確保し、農業経営の安定化と更なる飛躍を目指す。

また、現在構築しつつある農家のネットワークを拡大し、加工販売施設を有効に活用して自立できる農家の育成に貢献し、地域農業の発展に寄与する。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

狩猟及び獣害対策のために捕獲された獣肉の加工・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成26年度第2回

株式会社 山恵 (愛知県豊田市)

<事業計画概要>

獣肉加工処理施設・直売所を整備し、獣肉(猪、鹿)の解体及び精肉加工並びに冷凍真空パック加工を行う。また猪肉を使用した肉まん、ソーセージを開発・販売する。これとともに、新たな販売ルートを構築することで、経営の多角化・高度化を図り、農林業経営に付加価値を取り込むことで、経営の改善及び地域の活性化を図る。



自家生産したイチゴを使用した加工品の製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成26年度第3回

梅村 公治 (愛知県豊田市)

<事業計画概要>

豊田市で唯一のイチゴ狩り園である「うめこう桃梨苺園」では、来園者からの要望の強い持ち帰り用のお土産や贈答用商品を開発する。具体的には、当園のイチゴをたっぷり使用したジェラート、チョコイチゴ、イチゴジャムを開発し、来園者に対して直売所で販売する。過熟等により廃棄しているイチゴを加工に回すことで付加価値を高め、農業経営の改善を図る。



愛知県奨励品種「十五夜糯」を100%使用したもち巾着の加工・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成27年度第1回

農業生産法人 株式会社 大地 (愛知県名古屋市)

農事組合法人 逢妻 (愛知県豊田市)

<事業計画概要>

農事組合法人逢妻は、株式会社大地と契約して、もち米の愛知県奨励品種である「十五夜糯」の栽培を新たに行い、収入を増加させる。株式会社大地は、逢妻から購入した十五夜糯でもち巾着を製造し、国産もち米入りを売りにして全国で販売し収入を増加させる。



渥美半島産のミニトマトを原料とした果肉たっぷりジャムの製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成27年10月期

宮本 喜弘 (愛知県田原市)

<事業計画概要>

樹上完熟にこだわった、コクのある甘味と爽やかな酸味のミニトマト本来の味を最大限に活かした、低糖度のミニトマトジャムの開発・製造を行い、消費者の関心をより高めて喜美農園ブランドを確立し、農業経営の改善・安定化、収益性の向上による経営の改善を図る。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

桑葉、桑の実、繭、蛹を使用した加工品の製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成27年11月期

特定非営利活動法人マルベリークラブ中部（愛知県名古屋市）

<事業計画概要>

桑の葉を使った桑茶や桑の葉の粉末（パウダー）、原料に桑の葉パウダーを使用したパウンドケーキやクッキーなどのお菓子、まゆ人形キットの製造・販売を行うとともに、新たな販売ルートを構築することによって、農業経営及びNPO法人経営の多角化・高度化を図り、収益力を高めることで、補助金・助成金に依存しない団体経営を進める。



自社及び生産者とのネットワークにより栽培された農畜産物を使ったお土産品の開発・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成27年12月期

株式会社 とよたん本舗（愛知県豊田市）

<事業計画概要>

当社及び連携事業者が生産した農畜産物を「MIKAWA FOREST」としてブランド化し、新東名高速道路のサービスエリア「NEOPASA岡崎」でお土産品として販売することで、農畜産物の安全性と信頼性を確保しながら雇用の増加を目指す。



生産から加工まで管理された「あいち知多牛」のさまざまな部位を活かした商品の製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成27年12月期

大岩 智（愛知県知多郡南知多町）

<事業計画概要>

あいち知多牛を有効に活用し、冷凍コロッケ、冷凍ハンバーグ、筋肉の加工品の開発・製造・販売を行う。また、加工品の製造販売だけでなく、肉牛の生産拡大により、より一層の牛肉販売に努め、新たに雇用を創出し、経営を安定させる。



農薬・化学肥料を使用せず栽培したハーブを使ったエッセンシャルオイル（精油）の製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成28年3月期

剛谷 久美（愛知県知多郡南知多町）

<事業計画概要>

平成28年春の「観光ハーブ農園」オープンに向け、100%純粋なエッセンシャルオイル（精油）を開発し、取扱商品の幅を広げて高収益体制を実現するため、農園でのエッセンシャルオイルの効果等を紹介する講習会の開催や半田赤レンガマルシェへ出店する。

また、近隣の観光農園や観光協会と協力し南知多町全体の活性化を図る。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

イタリアン葉野菜等の生産及び各種加工品の製造販売事業

<認定農林漁業者等>

平成28年度ファンド同意案件

株式会社 フードラボファクトリー (愛知県知多市)

<事業計画概要>

愛知県の生産者が、パートナーの加工ノウハウ・販路を活用することで、西洋葉物野菜を中心とした農産物の卸販売、カット野菜及び加工品の製造販売を行う事業。



経産牛黒毛和牛を原料とした「熟成肉」と熟成肉を活用した加工品の開発・製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成28年11月期

谷澤 晃美 (愛知県豊田市)

<事業計画概要>

谷澤牧場で黒毛和牛の経産牛（出産を終えた母牛）を自家製飼料で肥育し「ゆたか牛」としてブランド化する。

これを原料として熟成肉及び加工品の開発・製造を行い、飲食店等への直卸や28年12月オープンの自家直販所で直売することで利益率改善や所得の向上を図る。



栽培期間中、農薬と肥料を使用しないで栽培した小麦を活用した製粉の製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成29年2月期

有限会社 新鮮組 (愛知県田原市)

<事業計画概要>

栽培期間中、農薬と肥料を使用しないで生産した小麦（ミナミノカオリ、古代小麦等）を活用し、新たに精麦、挽砕、製粉工程に取り組み、小麦粉を製造する。

また、関連会社である女農業道など自然食取扱業者を通じて健康志向の消費者をターゲットに販売を展開する。



農薬・化学肥料を使用せず栽培した宇宙芋を活用した加工品の開発・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成29年2月期

村山 保範 (愛知県豊田市)

<事業計画概要>

農薬や化学肥料を使用しない宇宙芋の生産拡大を図り、これを原料とした加工食品（うどん、コロッケ、漬物、宇宙芋チップス等）を開発する。

また、自営の飲食店を改装し、新たに宇宙芋販売のための専用ブースの設置やインターネット等で販売を行う。

地域での栽培普及にも努め、豊田市においてブランド化を目指す。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

国産黒毛和種「下村牛」を使った焼肉店販売及び精肉販売事業

<認定農林漁業者等>

平成29年6月期

有限会社 下村畜産 (愛知県大府市)

<事業計画概要>

自社独自の混合飼料により飼養した黒毛和種牛を、「下村牛」として独自ブランド化をすすめ、新たに整備する精肉加工・直売所及び焼肉店で販売を行う。

肉牛の生産から販売までの一貫した経営により、収益性の向上、農業経営の改善・安定化を図る。



木成り完熟のぶどうを使用したワインの開発・直売事業

<認定農林漁業者等>

平成29年6月期

株式会社 浅桑サービス (愛知県日進市)

<事業計画概要>

自社及び浅桑園のワイン用のぶどうを使用したワインを開発し、直売所等で販売を行うことにより売上及び収益の増加を図る。

また、直売所を通年営業することで、冬場の売上や顧客の確保、雇用の創出による夏場の農繁期の人手不足の解消が図られ、経営の安定を目指す。



愛知県常滑市産のワイン用ブドウを使ったワイン製造販売事業

<認定農林漁業者等>

平成29年度ファンド同意案件

株式会社 ヴェレゾン (愛知県常滑市)

<事業計画概要>

地元常滑において栽培したワイン用ぶどうを原材料としてワインを醸造し、隣接する農家レストランを活用して販売する。

生産から加工・販売へと繋がるバリューチェーンを形成し、原材料の付加価値向上を目指す事業。



あいちのかおりを活用した米粉パン等の製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成29年11月期

愛知西農業協同組合 (愛知県一宮市)

<事業計画概要>

あいちのかおりを中心とした地場産米を活用した米粉パン等の商品開発・製造を行い、ファーマーズマーケット等で直接販売することにより農産物の付加価値づくりに取り組み、農業者の所得の向上や地域雇用への貢献を目指す。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

奥三河の米を活用した五平餅の加工品の開発・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成30年2月期

つぐや 村松憲治 (愛知県北設楽郡設楽町)

<事業計画概要>

設楽地区で生産した米を使用し、五平餅の真空パックとオリジナルのタレ数種をセットにした、賞味期限が長くお持ち帰りしやすい加工品を開発する。これまでの「道の駅もっくる新城」での店頭販売のみでなくお土産としてのニーズに応えることにより、水稻作付面積を拡大し、所得の向上と雇用の拡大を実現する。さらに、高齢化による地域の耕作放棄地の増加抑制に貢献する。



香りだけでなく茶葉の旨味が感じられるほうじ茶のパウダーと、パウダーを使用した焼き菓子などの製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成31年2月期

高香園 野場義尊 (愛知県豊田市)

<事業計画概要>

平成25年に総合化事業計画の認定を受け、抹茶の焼き菓子等を開発した。焼き菓子が非常に好評であったことを受け商品のラインナップの充実を図るため、ほうじ茶バージョンの焼き菓子及びほうじ茶パウダーを製造する。「手摘みの高香園」のブランド拡張を図り、豊田市の地域資源であるお茶の認知を地域外にも広め、更なる安定的な経営基盤の確立を目指す。



日進市産の米や葡萄を使った発酵食品(麴、濁酒、甘酒、ワイン)の製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

平成31年2月期

(株)idea i (愛知県日進市)

<事業計画概要>

平成28年10月に内閣府構造改革特区による酒造免許を取得し、日進市で栽培した自社の米及び葡萄を使用して、麴、麴のみで作る甘酒、濁酒及びワインを自社店舗内で製造する。地域の名産品として販売することで地産地消を進め、農業所得の向上及び地元での雇用の創出を目指す。



自社で栽培した完熟イチゴやフルーツマトを使用した、作物本来の味を活かした加工品の製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

令和3年2月期

株式会社 山笑う里 (愛知県知多郡美浜町)

<事業計画概要>

山笑う里の長期ビジョン「1年中いつでもワクワクする体験型観光農園」を実現させるため、兄弟会社である(株)えびせんべいの里の食品製造技術を活かし、自社生産したイチゴやフルーツマトを使用したおせんべい、ジャム及びトマトケチャップの製造・販売を行うことで、農業経営基盤を安定させる。



愛知県「六次産業化・地産地消費」に基づく認定事業計画の概要

トマト(機能性野菜)を使ったジュースやピューレ等の加工品の製造及び販売事業

<認定農林漁業者等>

令和3年2月期

株式会社 アグリユナイテッド (愛知県豊田市)

<事業計画概要>

シスリコピンを多く含む桃太郎ゴールドトマトを原料として、ジュース等の加工品を製造する。新たに自社加工場を整備し、原料生産から加工・販売までを自社(豊田市内)で一貫して行うことで、地域ブランド商品としての付加価値を付ける。

また、新規雇用を創出し地域農業の発展に貢献する。



ベーカリーの新設による「ココテラスの丘」のさらなるブランディングおよび常滑への関係・交流人口の創出事業

<認定農林漁業者等>

令和4年2月期

株式会社 デイリーファーム (愛知県常滑市)

<事業計画概要>

年間15万人が利用する自社鶏卵を活用した洋菓子加工販売施設や農家レストランが立地する「ココテラスの丘」にベーカリーを新設する。これにより、自社鶏卵の消費の増加や雇用の創出につなげるとともに地域農業の活性化や常滑市への関係・交流人口を創出する。



さつまいも(機能性野菜)の価値向上のためのペースト・シロップ加工商品の開発・製造及び販売事業

<認定農林漁業者等>

令和4年2月期

株式会社 兼八ファーム (愛知県豊橋市)

<事業計画概要>

営農型太陽光パネル下で栽培するさつまいもを無駄なく活用するため、既存の加工品の製造段階で発生する除去部分等を有効利用し、新たな加工品である「さつまいもペースト」や「さつまいもシロップ」を開発し、製造・販売に取り組む。これにより、「儲かる農業」の一助とするとともに、新たな雇用を創出し地域に貢献する。



農福連携により生産した犬山市産米を使ったライスバーガーの加工・販売事業

<認定農林漁業者等>

令和4年7月期

株式会社 ココトモファーム (愛知県犬山市)

<事業計画概要>

自社生産する米の付加価値を高めるため、ライスバーガーを開発。ライスバーガーは、新たにオープンするカフェ(ココトモカフェ)で販売。成型機械の利用や調理方法の作業工程を細分化し、障がい者の特性に合わせたマニュアルにより多様性のある働き方ができる職場(活躍の場)づくりを進める。さらに、米の生産増加を図り、新たな雇用を創出し地域経済の発展にもつなげる。



ライスバーガー



「ココトモカフェ」のイメージ

愛知県「六次産業化・地産地消法」に基づく認定事業計画の概要

自社ブランド豚「知多ポーク」の付加価値向上を目的とした食肉加工・直売所の整備による直接販売方式の導入及び豚肉のフード・バリュー・チェーン構築事業

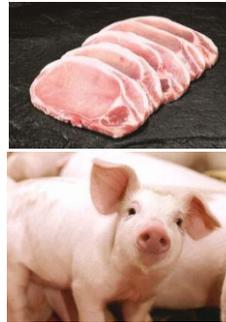
<認定農林漁業者等>

令和5年2月期

株式会社知多ピッグ（愛知県常滑市）

<事業計画概要>

SPF (Specific Pathogen Free) 認定を受けた高度な衛生管理のもと飼育された豚肉をブランド「知多ポーク」として、直売所の立ち上げを機にブランディング戦略を展開する。また、生産・加工・直売の拠点を一箇所に整備し、食育などの地域連携イベント等の展開や、常滑地域における同社の認知向上と、高品質な豚肉の地産地消を促進する。



稲作経営を救うもちもちふわふわお米のパン製造・販売事業

<認定農林漁業者等>

令和5年2月期

有限会社鍋八農産（愛知県弥富市）

<事業計画概要>

「主食としての米の可能性を広げる」という発想から、米飯だけではなく、お米のパンとして米の消費拡大を図る。パンに適した水稻品種「ミズホチカラ」を栽培し、加工場・直売所を整備して、お米のパンを開発・製造・販売する。
地域住民や、県外の方が交流できる憩いの場を提供することで、地域活性化にも貢献する。



有機農産物の消費拡大のため、地域の農業者と連携した産地一次加工場の整備と、情報発信拠点としての直売所の整備事業

<認定農林漁業者等>

令和6年3月期

慶人の自然農園株式会社（愛知県名古屋市）

<事業計画概要>

自社（ほ場は南知多町）および地域で連携する農業者の野菜の価値を高めるため、カット野菜の袋詰め商品を開発し、新たに建設するパッキング工場にて製造し販売を行う。

また、地域の農業者と連携を強化していくことで、地域の農業者の所得向上、地域経済全体の底上げを目指す。



独自の平飼い技術により生産した卵と親鶏肉を主食材として使用する農家レストランにおける料理の開発・提供事業

<農林漁業者等>

令和6年8月期

株式会社歩荷^{ほっか}（愛知県稲沢市）

<事業計画概要>

新たに農家レストラン「Caféほっか」を展開し、自社生産の卵、鶏肉をメインとして、地域農家の食材を使ったメニューを開発し提供する。規格外卵を始めとした全ての食材の価値及び生産率を最大限に高め、生産農場及び関連事業の所得を向上させるとともに、利益が出せるビジネス形態を次世代に見せることにより、第一次産業の活性化、地産地消、地域活性化の促進を継続的に実践する。

